

# ふるさと取手 住みたい街へ

齋藤 久代 議員

場がないため経済的な負担が大変である。藤代庁舎の広場など会場として使える環境整備を検討し、市民団体の活動や行政と連携した活動につなげたい。

※GNH：国民総幸福量または国民総幸福感

## 不育症への助成

落合 信太郎 議員

問 不育症は約140万人と推定され、毎年約3万人が新たに発症している。病床治療に対する助成を実施する自治体が増えているが、市の状況は。

健康福祉部長 国の補助金を使った調査研究の結果を把握。また、市内2カ所の病院で治療を実施。現在、保健センターでの対応や相談は行っていない。

問 他の自治体でも不育症の治療を実施するところが増えているが、市の評価は。

答 少子化対策の一つとしても有効。医師会や市内の医師との会議で協議し、対応を考えたい。情報提供については、ホームページリンクを張るなど、できることからやっていきたい。

問 まだ認知度も低く、高額な治療費がかかると思われる。治療を受ければ、85%の方が赤ちゃんを授かる可能性はある。一日も早い検討と周知・啓発の実施については。

答 ホームページ、広報等で啓発していきたい。また、保健センターの相談の中や、今後、市の支援の中にも取り入れていきたい。

## ごみ処理とごみ減量化

池田 慈 議員

問 新しいキルン式ガス化溶融焼却炉が8月から稼働。焼却能力が小さくなり、1人1日当たりのごみ搬出量を700グラムから平成32年度までに679グラムに減らすことになるが、市の取り組みは。

まちづくり振興部長 4月1日から5種16分別に細分化。現在ごみの搬出量は700グラムで、このままの推移でいけば達成できる。

問 プラ容器はA・B・Dの3段階に分けられ、当市は最下位Dランクで、リサイクルの生産性が低い。市民への周知が必要では。

答 Dランクのものはリサイクル業者に回せず産業廃棄物になり、非常に効率が悪く、広報だけでは周知徹底できないので、地元への説明、出前講座などを引き続き行っていきたい。

問 国がリサイクルからリユース(※)に方向転換し

なくては市の取り組みが非常に難しいと思うが、具体的なごみ削減への考えは。

答 生ごみ処理機の購入補助、レジ袋の辞退を促進する取り組みを各スーパーにも参画してもらい、消費者団体と協力してキャンペーンなどを行っている。

問 これからも生ごみのリサイクル、レジ袋の有料化を推進していただきたい。

※リユース：一度使用された製品(部品)をそのまま再利用すること

## 通学路の安全対策

染谷 和博 議員

問 登下校中の交通事故を解消するには通学路を点検し、一層安全対策を強化しなければならぬ。昨年の一般質問で答弁のあった危険箇所4カ所の対応は。

総務部長 白山西小の電柱は対応済み。残りの3カ所は警察に要望しているが、解消されていない。文科省、国交省、警察庁から通学路における交通安全の確保についての通知が来ていることも踏まえ、引き続き警察に要望していく。

問 児童、生徒側に落ち度のない横断歩道での事故が非常に多いことを受け、通達等が出ている。警察との話し合いは済んでいるのか。

答 まだ進めていない。

問 文科省等からの通達に対する取り組みの状況は。

教育長 PTA、校外指導員、教職員、ボランティア等で通学路を調査し、結果を教育委員会に報告している。それを精査して学校、市、警察で現地調査をして安全対策を図りたい。

問 桑原の踏切は大変狭い。どのように考えているか。

建設部長 県と共同でオーバードブリッジ建設を26年の予定で計画しているが、県の事業が難航している。若干遅れると思う。拡幅は、JRとの関係もあり現時点では考えていない。

## 放射能対策

赤羽 直一 議員

問 除染計画は、市政協力員と自主防災会など多くの協力のもとで作成された。基本的な考え方と特徴は。

まちづくり振興部長 各地域で測定されたデータを参考に市が発注したデータを重ね合わせ、3月に実施計画を策定。特徴は、地域と一体になった除染作業を想定して進めたこと。

問 除染作業は学校が優先されると思うが、今後のスケジュールについては。

答 測定の結果、校庭で0・

■除染作業スケジュール(予算措置された部分)

除染対象	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小・中学校等 除染工事の調査設計	→							
小・中学校等 除染工事		→						
その他除染対象施設 調査設計			→					

23マイクログリットを上げるのは、中学校3校、小学校3校で、夏休み期間中に除染作業に入る。それ以外の校舎の脇などの除染作業は、早ければ9月ごろから全部発注できると思う。

問 一番重要なのは、除染作業をスムーズに行うこと。同時に地元企業が除染のノウハウを取得できるように発注をすべきだと思いませんか。

答 地域の除染はきめ細かく長期になると思うので、地元業者の協力がないと難しい。地域の事業者が除染に関われるように考えたい。

問 道路や民有地から出た除染の廃棄物の処分は。

答 道路の除染はブラッシングなどで行うため、それほど量は出ない。民有地の場合、市内に仮置き場がないため、各家庭から出た物は庭に保管していただく方法を検討するしかない。